

科目：算数	分野：平均	(5年生)
～平均の求め方～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

「平均」の考え方と、問題の解き方を練習しよう。

授業

いくつかの数量を等しい大きさになるようにならしたものを**平均**といいます。

いくつかの数量の平均を求めるには、それらの**合計**を**こ数**でわります。

【平均】の考え方から【こみぐあい】や【つまりぐあい】を求めることができます。これが、【^{そくど}速度】【^{みつど}密度】【^{のうど}濃度】といわれるものです。

さらに はってん

電車のこみぐあいを考えてみましょう。4両のA電車に400人乗っているときと、7両のB電車に800人乗っているときと、どちらの電車がこんでいるのかわかりますか。このとき、一つの車両に乗っている人数の平均を求めれば、A電車とB電車のこみぐあいをくらべることができるので、1車両あたりに何人乗っているかを求めればよいのです。この考え方が【^{みつ}人口密度】です。

《おぼえておこう》 平均の求め方

$$\text{平均} = \text{合計} \div \text{こ数}$$

【例題1】 つぎの量の平均を求めましょう。

15 g 32 g 26 g 43 g

合計は、 $15 + 32 + 26 + 43 = 116$

こ数は、4こ

$$\text{式 } (15 + 32 + 26 + 43) \div 4 = 29 \quad \text{答え } 29 \text{ g}$$

【例題2】 たまご10この重さをはかったら、1この重さは、平均48gでした。

このたまご100こぶんの重さは、何kgになりますか。

1この重さの平均が48gなので、100こぶんの重さは、 48×100 。

答えはkgの単位。

$$\text{式 } 48 \times 100 = 4800 \quad \text{答え } 4.8 \text{ kg}$$